

皆様、おはようございます。

斐川町長の勝部勝明でございます。出雲市・斐川町合併協定調印式にあたりまして、ごあいさつを申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、溝口島根県知事様、小室衆議院議員様、島根県議会議員の皆様はじめご来賓の皆様、合併協議会委員の皆様、多数の関係者の皆様、そして両市町の市民の皆様、町民の皆様にご臨席を賜りまして、合併協定調印式を行うことができましたことを、本当に心から厚く御礼を申しあげるところでございます。

この合併協議につきましても、斐川町民の住民発議に始まったものであります。斐川町民の合併への強い思いを出雲市長様、出雲市議会議長様、議員の皆様方、そして出雲市民の皆様にしかりと受け止めて頂きまして、5月1日の出雲市・斐川町合併協議会の設置となったわけでございます。

その後、合併協議におきましても、出雲市と斐川町がお互いに、それぞれの考え、特性を尊重しながら「対等の立場」、「互譲の精神」に基づき、すべての市民と町民が夢と希望を持てる新市の誕生を目指した建設的な議論が行われてきたところでございます。そして、新市の姿、進むべき方向が示された合併協定書が取りまとめられました。

これもひとえに、地域の将来をしっかりと見据えたご協議とご判断を頂きました合併協議会委員の皆様をはじめ、本日ご臨席を賜りました皆様方、そして市民、町民の皆様のご理解とご協力の賜物と、本当に感謝を申しあげる次第でございます。

本日のこの日を迎えますまでの斐川町の歩みは、決して平坦なものではありませんでした。平成14年12月に2市5町による合併協議会が設置されましたが、平成15年12月には、斐川町の離脱によりまして解散となりました。その後、関係の皆様方の大変なご努力によりまして、平成17年3月には、2市4町による新出雲市が誕生されたところでございます。

その後も、出雲市との合併を望む斐川町民の声は、日増しに強くなり、平成20年3月には「出雲の國広域連携推進研究会」が設置されました。11月には「出雲市・斐川町合併問題研究会」を設置し、様々な課題について検討を進めますとともに、出雲市・斐川町の信頼関係を深めてまいりました。

そして、合併を争点とした平成21年8月の町長選挙、平成22年2月の斐川町民による合併協議会設置の直接請求、4月の住民投票と様々な出来事がありましたが、合併を望む多くの町民の皆様の声に支えられ、また、ともに汗を流し、長い年月の成果としての今日があることを思うと、感慨無量の思いでございます。

斐川町は、昭和30年に6か村の合併による斐川村の発足以来、今年で55

周年を迎えるところでございます。この間、先輩の皆様、並びに町民の皆様の  
ご努力により、優れた生活基盤、産業基盤、道路交通網を持ち、豊かな自然と  
歴史遺産にも恵まれた町として発展を続けてまいりました。

私は、斐川町はどなたにも自慢をできる町であると自負いたしております。  
そうしたことから、町民の思いとしまして、現在の斐川町への愛着も深いもの  
がございりますが、地方分権、地域主権の時代を迎え、基礎自治体の役割がさら  
に重要となってまいりました現在、私たちは、合併により、新たな時代に対応  
できる体制を整え、先人たちが築いてこられました素晴らしい斐川を、次の世  
代へ立派に引き継ぎ、そして、さらなる発展を目指す、新たな斐川の50年を  
スタートさせることが求められているところでございます。

これから、合併期日である平成23年10月1日までに、住民投票による町  
民の意思の最終確認、また、議会での廃置分合の議決や合併申請など様々な段  
階がありますが、私は、出雲市、斐川町の優れた特性、資源を活かした広い視  
点に立ったまちづくりを進めることのできる新市の誕生に、大きな期待と希望  
を持ち、合併の実現に全力をあげて取り組んでまいります。

本日もご臨席の皆様方におかれましても、新しい出雲市の誕生に向け、ご支援、  
ご協力を賜りますように、よろしくお願いを申しあげるところでございます。

結びになりますが、皆様方のさらなるご活躍とますますのご健勝を祈念いた  
しまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます  
ございました。